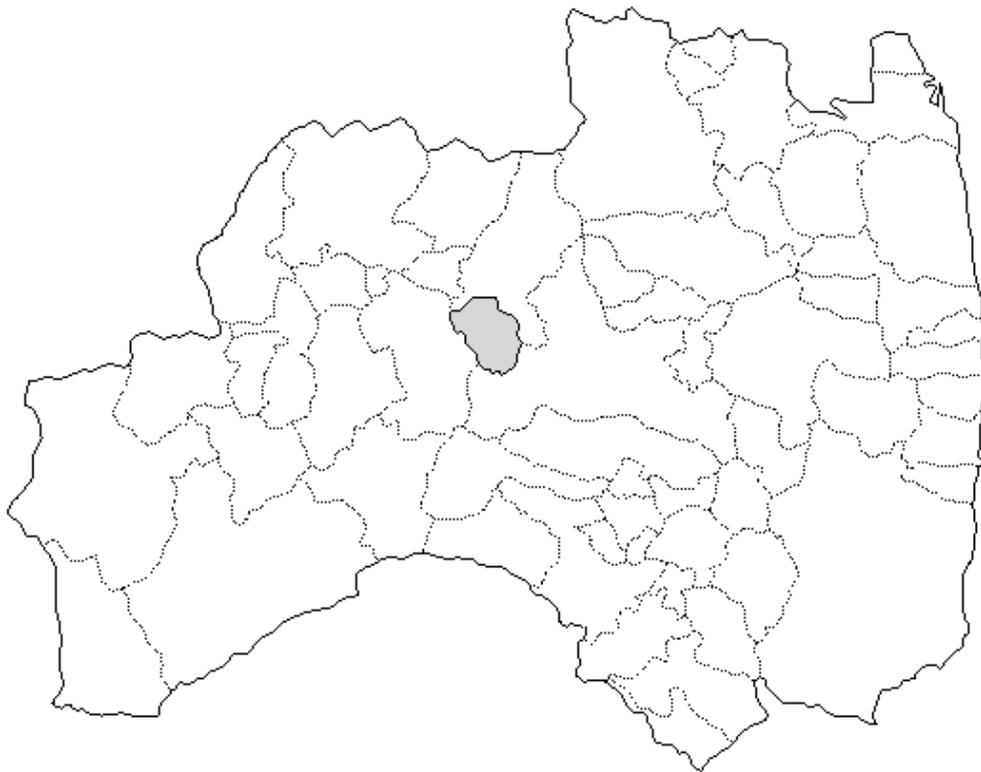


**令和3(2021)年度
福島県市町村民経済計算の概要**



令和6年6月
福島県 企画調整部 統計課

御利用にあたって

1 市町村民経済計算は、県内市町村の経済活動を生産・分配の2つの側面からとらえ、県内市町村の経済の規模、成長率、構造、所得水準などを明らかにするものです。

市町村民経済計算は、県民経済計算の値を、統計指標等で各市町村に按分して推計しています。なお、福島第一原子力発電所事故に係る避難指示区域については、一部統計指標を調整して推計しています。

2 今回の推計にあたっては、最新の統計資料の利用、推計方法の改善等により、過去の推計値を平成23年度まで遡及して改定していますので、**令和2年度以前の数値を御利用になる場合も本資料の数値を利用されるようお願いいたします。**

なお、過去に公表した**平成22年度以前の計数は、基準が異なるため本報告書の計数とは接続しませんので御注意ください。**

3 **1人当たり市町村民所得**は、企業の利益なども含めた市町村民経済全体の所得水準を表しています。**個人の給与や実収入の平均値ではありません。**また、分子である市町村民所得の増減と分母である人口の増減により変動するので、**増減の要因にはご注意ください。**なお、市町村別人口は県統計課「福島県の推計人口」を採用しており、値が「-」とされている市町村については、1人当たり市町村民所得についても「-」表章となります。

4 県民経済計算で推計している支出系列は、分割指標の制約により、市町村民経済計算では推計していません。また、県民経済計算で推計している実質値は、デフレーターデフレーターの制約により、市町村民経済計算では推計していません。あらかじめ御了承ください。

5 統計表の記号の用法は、次のとおりです。

「△」：負数

「0」又は「0.0」：皆無又は表章単位未満

「-」：該当なし、又は上記3なお書きによるもの

6 統計表の数値は単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の和が一致しない場合があります。

7 統計表の対前年度増加率は、単位未満を四捨五入する前の数値から次により算出しています。

マイナスからプラスに転じた場合及びマイナス幅が縮小した場合は、プラスで表示されます。

$$\text{対前年度増加率} = \left[\frac{X_1}{X_0} - 1 \right] \times (X_0 \text{の符号}) \times 100(\%) \quad \begin{array}{l} X_1: \text{当該年度の計数} \\ X_0: \text{前年度の計数} \end{array}$$

8 寄与度の単位「パーセントポイント」は、本年報では「%」で表示しています。

9 本資料の詳細につきましては、「令和3(2021)年度 福島県市町村民経済計算年報」を御覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/17020.html>

また、福島県統計課ホームページ「ふくしま統計情報 Box」でも御覧になれます。

ふくしま統計情報 Box（「福島県」トップページ→「福島県の情報」）

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/johobox/>

10 本資料に関するお問い合わせは、下記宛てにお願いします。

〒960-8670 福島市杉妻町2-16 本庁舎5階

福島県 企画調整部 統計課 県民経済計算担当

電話 024-521-7148(直通) 内線2431

専用電子メール shotoku@pref.fukushima.lg.jp

(参考)市町村民経済計算における地域区分(福島県内7地域、59市町村)

中通り

- ・県北地域 福島市、二本松市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、川俣町、大玉村
- ・県中地域 郡山市、須賀川市、田村市、鏡石町、天栄村、石川町、玉川村、平田村、浅川町、古殿町、三春町、小野町
- ・県南地域 白河市、西郷村、泉崎村、中島村、矢吹町、棚倉町、矢祭町、塙町、鮫川村

会津

- ・会津地域 会津若松市、喜多方市、北塩原村、西会津町、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町
- ・南会津地域 下郷町、檜枝岐村、只見町、南会津町

浜通り

- ・相双地域 相馬市、南相馬市、広野町、檜葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村
- ・いわき地域 いわき市

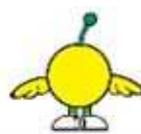


—お願い—

本資料から抜粋、又は新たに資料を作成して利用する場合は、福島県統計課「令和3(2021)年度福島県市町村民経済計算の概要」から抜粋(又は作成)した旨を明記してください。



目 次



御利用にあたって

市町村民経済計算とは 1

概 要 2

統計表

統計表1 市町村内総生産 6

統計表2 市町村民所得及び1人当たり市町村民所得 7

市町村民経済計算Q&A 8

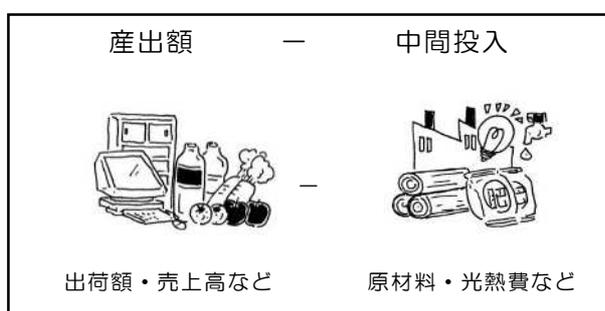
市町村民経済計算とは

市町村民経済計算は、県内市町村の経済活動により1年間に生み出された付加価値を、**生産・分配**の二つの側面から計量把握するための統計で、県内市町村の経済活動を包括的に記録しています。

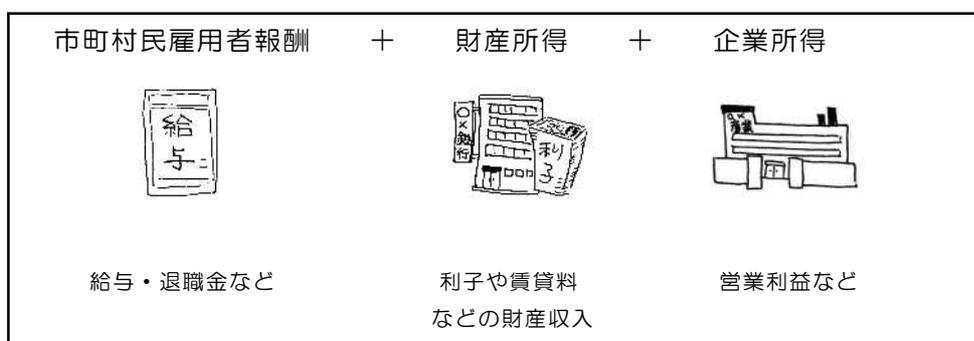
生産: 労働、資本(土地や機械設備などの実物資産や現金などの金融資産)、原材料といった生産要素を組み合わせると商品やサービスが生産されます。商品やサービスの産出額から中間投入(原材料や部品代など)を差し引いたものが、新たに生み出された付加価値(市町村内総生産)です。

分配: 付加価値は労働者や企業に賃金や利潤として分配されます。

生産 市町村内総生産



分配 市町村民所得



市町村民経済計算で分かること

- 市町村経済の規模・名目経済成長率
- 産業の構造
(各産業の構成比、成長率等)
- 所得の構造
(所得水準、分配状況)

市町村民経済計算の利用方法

- 市町村経済活動の評価・分析
- 経済構造の分析
- 経済計画の策定
(市町村の総合計画等)
- 県・県内各市町村との比較
- 諸政策の評価・分析
(予算編成資料、企業誘致等)

～ 令和3(2021)年度の市町村民経済計算 ～

○地域別市町村内総生産

	市町村内総生産		対前年度増加率 (経済成長率)	県計に対する 構成比
	2年度	3年度		
県北地域	18,178 億円	18,744 億円	3.1 %	23.9 %
県中地域	20,302 億円	20,658 億円	1.8 %	26.3 %
県南地域	7,419 億円	7,772 億円	4.8 %	9.9 %
会津地域	7,994 億円	8,382 億円	4.9 %	10.7 %
南会津地域	931 億円	984 億円	5.7 %	1.3 %
相双地域	9,948 億円	8,441 億円	△ 15.1 %	10.8 %
いわき地域	13,188 億円	13,465 億円	2.1 %	17.2 %
県計	77,959 億円	78,447 億円	0.6 %	100.0 %

○地域別1人当たり市町村民所得

	1人当たり市町村民所得		対前年度増加率	市町村平均比 (市町村平均=100)
	2年度	3年度		
県北地域	2,759 千円	2,871 千円	4.1 %	98.3
県中地域	2,798 千円	2,906 千円	3.9 %	99.5
県南地域	2,898 千円	3,014 千円	4.0 %	103.2
会津地域	2,498 千円	2,603 千円	4.2 %	89.1
南会津地域	2,371 千円	2,490 千円	5.0 %	85.3
相双地域	3,895 千円	3,894 千円	△ 0.0 %	133.3
いわき地域	2,794 千円	2,880 千円	3.1 %	98.6
市町村平均	2,823 千円	2,921 千円	3.5 %	100.0

【県経済の概況】

令和3年度の本県経済は、**建設業**が減少した一方、国内外で新型コロナウイルス感染症からの経済活動の回復が進み、**製造業**が増加したため、**県内総生産は名目で7兆8,447億円**となった。**経済成長率は名目で0.6%、実質で1.5%と、ともに4年ぶりのプラス**となった。

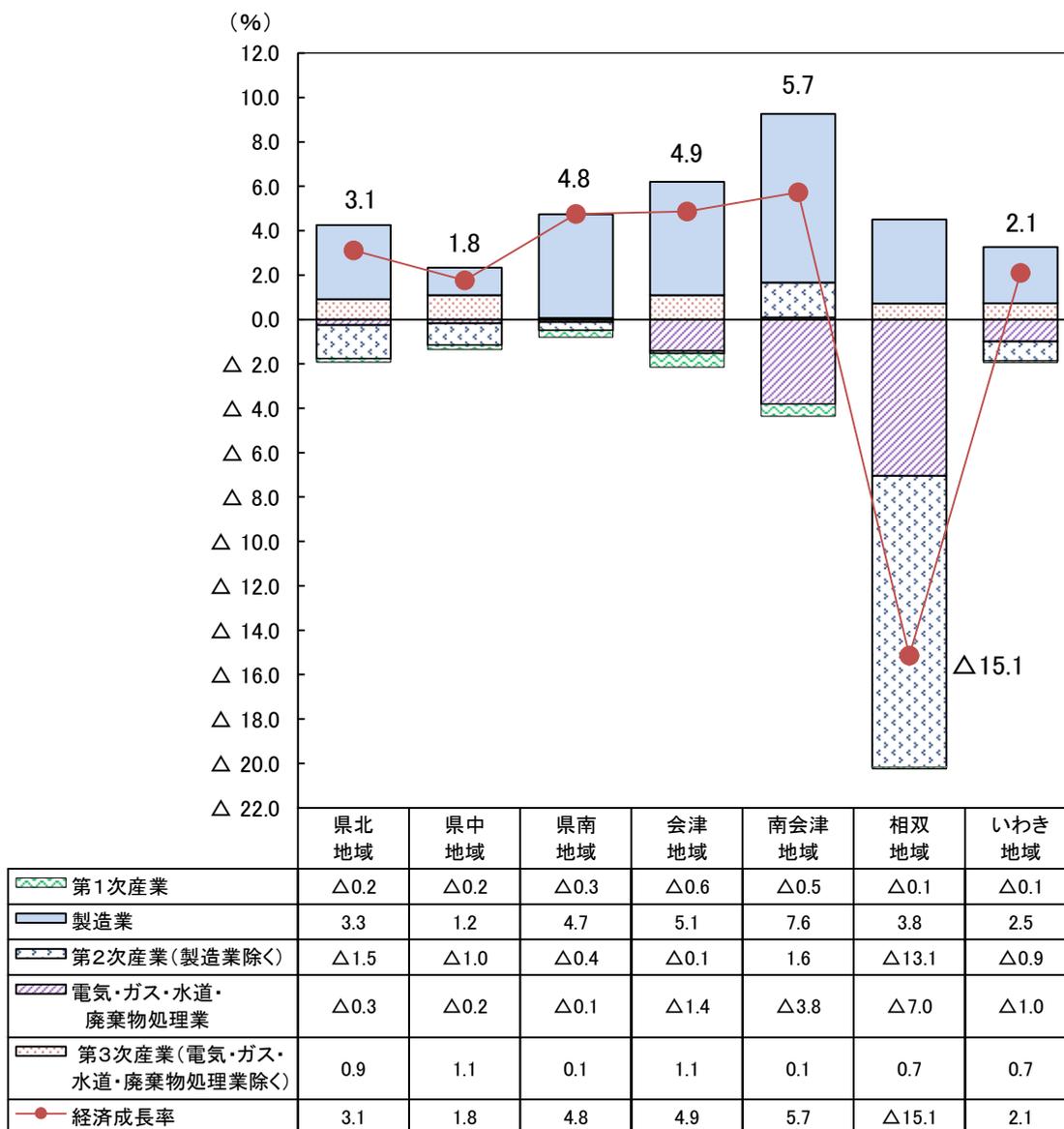
【市町村民経済計算の概況】

令和3年度の市町村内総生産を地域別にみると、**県中地域**が2兆658億円（県計に対する構成比26.3%）で最も大きく、次いで、**県北地域**が1兆8,744億円（同23.9%）となっている。

次に、経済成長率（市町村内総生産の対前年度増加率）をみると、**相双地域**はマイナスとなったが、それ以外の6地域はプラスとなった。各地域の経済成長率と経済成長率に影響を与えた主な業種は次のとおり（図1）。

- ・県北地域（3.1%）、県中地域（1.8%）、... （増加）製造業
- ・県南地域（4.8%）、会津地域（4.9%）、南会津地域（5.7%）、いわき地域（2.1%）
- ・相双地域（△15.1%）... （減少）建設業

図1 地域別の経済成長率・経済活動別寄与度



1 市町村内総生産(名目)

市町村内総生産の合計(県内総生産)に対する地域別の構成比をみると、県北地域(23.9%)、県中地域(26.3%)が大きく、2地域で県全体の約半分を占めている(図2)。

市町村別にみると、最も経済規模が大きいのは郡山市で、市内総生産は1兆3,863億円となっており、次いで、いわき市が1兆3,465億円、福島市が1兆1,294億円となっている(表1)。

また、各地域の経済活動別構成比をみると、県南地域では製造業の構成比が、相双地域では第2次産業(建設業、鉱業)と電気・ガス・水道・廃棄物処理業の構成比が特に大きい(図3)。

図2 県計に対する地域別市町村内総生産の構成比

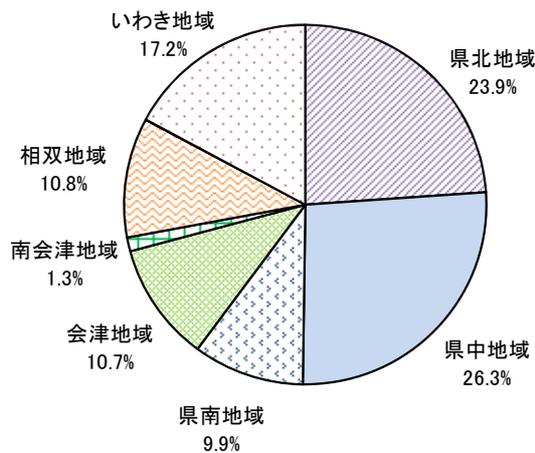
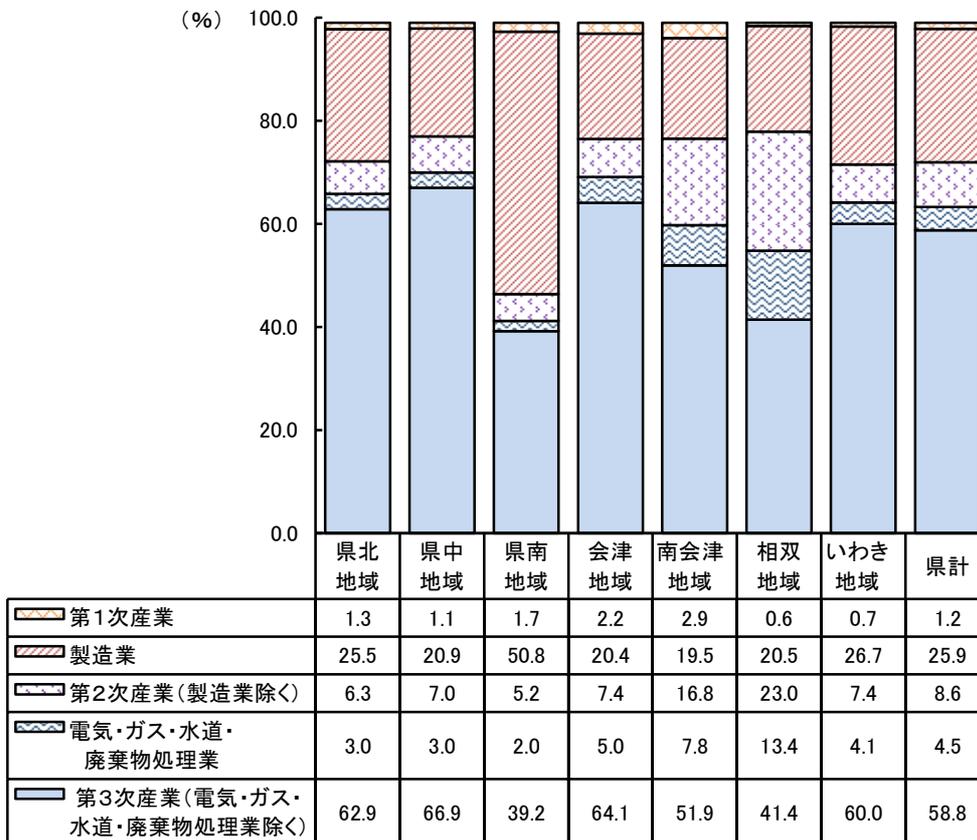


表1 市町村内総生産が上位の市町村

順位	市町村	市町村内総生産(100万円)	県計に対する構成比(%)	累積構成比(%)
1	郡山市	1,386,301	17.7	17.7
2	いわき市	1,346,548	17.2	34.8
3	福島市	1,129,420	14.4	49.2
4	会津若松市	436,676	5.6	54.8
5	白河市	344,989	4.4	59.2

図3 地域別市町村内総生産の経済活動別構成比



※輸入品に課される税・関税等を除くため、構成比の合計は100%にならない。

2 市町村民所得

市町村民所得は、市町村民雇用者報酬、財産所得、企業所得からなる。

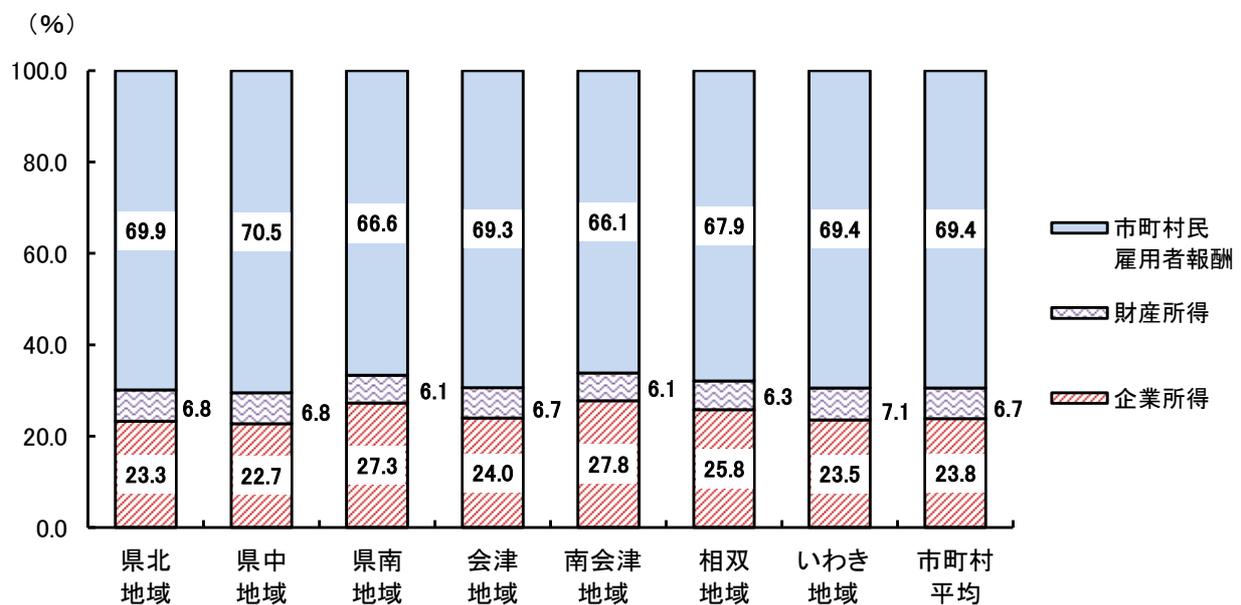
各地域の市町村民所得の項目別構成比について市町村平均と比較すると、県北地域や県中地域では市町村民雇用者報酬の構成比が大きく、県南地域や南会津地域などでは企業所得の構成比が大きい(図4)。

また、1人当たり市町村民所得について、最も大きいのは相双地域の3,894千円となっており、次いで、県南地域が3,014千円、県中地域が2,906千円となっている。

注:市町村民雇用者報酬:給与・退職金など、財産所得:利子・賃貸料など、企業所得:経常利益など

注:1人当たり市町村民所得は、市町村民所得をその地域(市町村)の総人口で割ったもので、個人の所得水準を表したのではなく、各地域(市町村)全体の所得水準を表した指標である。

図4 地域別市町村民所得の項目別構成比



(参考)

県民経済計算では、旧基準の推計対象期間となる平成18年度～平成22年度の計数について、統計利用者のニーズを踏まえ、長期時系列接続表を作成・公表しています。平成22年度の計数について、市町村民経済計算においても参考推計した結果は、以下のとおりです。なお、現行基準と接続するよう可能な限り整合を図っていますが、一部資料制約等により単純比較できない計数もあるため、あくまで参考である点にご留意ください。

○地域別市町村内総生産

	市町村内総生産		平成22年度対比 (H22=100)
	平成22年度	令和3年度	
県北地域	17,334 億円	18,744 億円	108.1
県中地域	19,387 億円	20,658 億円	106.6
県南地域	5,953 億円	7,772 億円	130.5
会津地域	7,997 億円	8,382 億円	104.8
南会津地域	899 億円	984 億円	109.5
相双地域	9,241 億円	8,441 億円	91.3
いわき地域	11,844 億円	13,465 億円	113.7
県計	72,655 億円	78,447 億円	108.0

○地域別1人当たり市町村民所得

	1人当たり市町村民所得		平成22年度対比 (H22=100)
	平成22年度	令和3年度	
県北地域	2,537 千円	2,871 千円	113.2
県中地域	2,491 千円	2,906 千円	116.7
県南地域	2,478 千円	3,014 千円	121.6
会津地域	2,192 千円	2,603 千円	118.8
南会津地域	1,946 千円	2,490 千円	127.9
相双地域	2,552 千円	3,894 千円	152.6
いわき地域	2,484 千円	2,880 千円	116.0
市町村平均	2,459 千円	2,921 千円	118.8

統計表

統計表1 市町村内総生産

市町村名	実数(100万円)		対前年度 増加率(%)	県内総生産 に対する 構成比(%)	(参考)産業別実数(100万円) 3年度			
	2年度	3年度			第1次産業	第2次産業	第3次産業	輸入品に課される 税・関税等
県北地域	1,817,790	1,874,447	3.1	23.9	23,899	597,729	1,233,722	19,097
1 福島市	1,097,631	1,129,420	2.9	14.4	7,668	244,019	866,227	11,507
2 二本松市	172,033	188,241	9.4	2.4	3,644	79,853	102,826	1,918
3 伊達市	181,435	165,498	△ 8.8	2.1	6,407	49,912	107,493	1,686
4 本宮市	220,299	235,500	6.9	3.0	1,013	151,670	80,417	2,399
5 桑折町	54,071	57,947	7.2	0.7	1,477	33,581	22,299	590
6 国見町	29,265	27,592	△ 5.7	0.4	1,509	9,979	15,823	281
7 川俣町	42,409	48,324	13.9	0.6	1,084	22,974	23,773	492
8 大玉村	20,647	21,923	6.2	0.3	1,097	5,740	14,863	223
県中地域	2,030,156	2,065,821	1.8	26.3	22,803	577,018	1,444,953	21,047
9 郡山市	1,359,544	1,386,301	2.0	17.7	7,449	311,494	1,053,234	14,124
10 須賀川市	267,234	265,389	△ 0.7	3.4	4,271	86,553	171,861	2,704
11 田村市	128,286	122,923	△ 4.2	1.6	3,432	54,648	63,590	1,252
12 鏡石町	54,697	55,757	1.9	0.7	630	30,341	24,218	568
13 天栄村	19,784	20,386	3.0	0.3	782	9,670	9,726	208
14 石川町	44,909	46,720	4.0	0.6	1,404	14,328	30,513	476
15 玉川村	24,207	27,344	13.0	0.3	798	12,561	13,707	279
16 平田村	18,789	18,698	△ 0.5	0.2	928	6,368	11,212	190
17 浅川町	16,093	19,719	22.5	0.3	586	10,902	8,030	201
18 古殿町	14,898	15,486	3.9	0.2	808	6,617	7,903	158
19 三春町	53,685	57,963	8.0	0.7	688	22,156	34,527	591
20 小野町	28,031	29,136	3.9	0.4	1,027	11,381	16,431	297
県南地域	741,933	777,190	4.8	9.9	13,501	435,780	319,991	7,918
21 白河市	335,927	344,989	2.7	4.4	3,306	186,490	151,678	3,515
22 西郷村	119,328	128,096	7.3	1.6	2,257	81,867	42,668	1,305
23 泉崎村	48,929	49,617	1.4	0.6	1,232	34,254	13,625	505
24 中島村	24,002	22,597	△ 5.9	0.3	781	14,358	7,228	230
25 矢吹町	78,125	77,867	△ 0.3	1.0	2,454	30,587	44,033	793
26 棚倉町	54,567	57,458	5.3	0.7	960	26,843	29,070	585
27 矢祭町	40,826	51,577	26.3	0.7	566	42,573	7,913	525
28 埴町	31,279	36,331	16.2	0.5	1,326	15,333	19,302	370
29 鮫川村	8,950	8,657	△ 3.3	0.1	620	3,474	4,475	88
会津地域	799,362	838,241	4.9	10.7	18,070	232,532	579,098	8,540
30 会津若松市	409,457	436,676	6.6	5.6	3,619	98,235	330,373	4,449
31 喜多方市	146,721	150,820	2.8	1.9	4,497	46,117	98,670	1,537
32 北塩原村	7,772	8,124	4.5	0.1	235	1,804	6,003	83
33 西会津町	20,373	19,357	△ 5.0	0.2	722	5,488	12,950	197
34 磐梯町	30,156	39,926	32.4	0.5	656	31,534	7,329	407
35 猪苗代町	40,782	40,790	0.0	0.5	1,516	6,706	32,152	416
36 会津坂下町	47,744	49,175	3.0	0.6	2,163	12,198	34,313	501
37 湯川村	10,176	10,932	7.4	0.1	534	4,444	5,843	111
38 柳津町	14,811	13,366	△ 9.8	0.2	647	5,007	7,576	136
39 三島町	7,312	5,998	△ 18.0	0.1	226	885	4,825	61
40 金山町	15,919	13,458	△ 15.5	0.2	296	4,512	8,513	137
41 昭和村	4,917	4,866	△ 1.0	0.1	210	2,536	2,071	50
42 会津美里町	43,222	44,752	3.5	0.6	2,750	13,066	28,480	456
南会津地域	93,077	98,403	5.7	1.3	2,895	35,695	58,810	1,003
43 下郷町	18,108	19,544	7.9	0.2	840	8,773	9,732	199
44 檜枝岐村	5,518	4,422	△ 19.9	0.1	30	738	3,609	45
45 只見町	18,589	17,760	△ 4.5	0.2	406	5,542	11,631	181
46 南会津町	50,861	56,676	11.4	0.7	1,620	20,641	33,838	577
相双地域	994,780	844,085	△ 15.1	10.8	5,358	367,312	462,816	8,600
47 相馬市	190,109	220,777	16.1	2.8	1,692	127,778	89,058	2,249
48 南相馬市	313,108	287,137	△ 8.3	3.7	1,574	70,025	212,612	2,925
49 広野町	119,044	56,164	△ 52.8	0.7	195	12,404	42,993	572
50 檜葉町	34,562	33,149	△ 4.1	0.4	251	7,404	25,156	338
51 富岡町	33,578	33,890	0.9	0.4	38	12,036	21,470	345
52 川内村	10,864	9,627	△ 11.4	0.1	452	3,580	5,498	98
53 大熊町	109,935	69,101	△ 37.1	0.9	20	63,905	4,471	704
54 双葉町	61,384	31,255	△ 49.1	0.4	0	27,434	3,503	318
55 浪江町	41,565	32,701	△ 21.3	0.4	84	18,084	14,199	333
56 葛尾村	6,442	4,147	△ 35.6	0.1	74	1,004	3,028	42
57 新地町	57,183	49,899	△ 12.7	0.6	821	13,517	35,052	508
58 飯館村	17,005	16,239	△ 4.5	0.2	157	10,141	5,777	165
いわき地域	1,318,845	1,346,548	2.1	17.2	9,971	459,603	863,256	13,719
59 いわき市	1,318,845	1,346,548	2.1	17.2	9,971	459,603	863,256	13,719
県計・県平均	7,795,942	7,844,733	0.6	100.0	96,497	2,705,668	4,962,646	79,923

統計表2 市町村民所得及び1人当たり市町村民所得

市町村名	市町村民所得			総人口			1人当たり市町村民所得			
	実数(100万円)		対前年度 増加率(%)	実数(人)		対前年度 増加率(%)	実数(千円)		対前年度 増加率(%)	市町村平均比 (市町村平均=100)
	2年度	3年度		2年度	3年度		2年度	3年度		
県北地域	1,285,240	1,324,485	3.1	465,894	461,407	△ 1.0	2,759	2,871	4.1	98.3
1 福島市	824,836	851,486	3.2	282,693	280,655	△ 0.7	2,918	3,034	4.0	103.9
2 二本松市	131,926	137,913	4.5	53,557	52,840	△ 1.3	2,463	2,610	6.0	89.4
3 伊達市	139,028	138,066	△ 0.7	58,240	57,336	△ 1.6	2,387	2,408	0.9	82.5
4 本宮市	91,583	96,968	5.9	30,236	30,121	△ 0.4	3,029	3,219	6.3	110.2
5 桑折町	28,828	29,664	2.9	11,459	11,284	△ 1.5	2,516	2,629	4.5	90.0
6 国見町	19,366	19,470	0.5	8,639	8,447	△ 2.2	2,242	2,305	2.8	78.9
7 川俣町	28,192	28,967	2.8	12,170	11,850	△ 2.6	2,317	2,445	5.5	83.7
8 大玉村	21,480	21,950	2.2	8,900	8,874	△ 0.3	2,414	2,474	2.5	84.7
県中地域	1,453,877	1,497,138	3.0	519,577	515,110	△ 0.9	2,798	2,906	3.9	99.5
9 郡山市	699,680	1,003,832	3.5	327,692	326,121	△ 0.5	2,959	3,078	4.0	105.4
10 須賀川市	200,474	205,587	2.6	74,992	74,268	△ 1.0	2,673	2,768	3.6	94.8
11 田村市	84,035	84,269	0.3	35,169	34,438	△ 2.1	2,389	2,447	2.4	83.8
12 鏡石町	33,839	34,785	2.8	12,318	12,259	△ 0.5	2,747	2,837	3.3	97.2
13 天栄村	13,274	13,346	0.5	5,194	5,086	△ 2.1	2,556	2,624	2.7	89.8
14 石川町	34,254	34,976	2.1	14,644	14,274	△ 2.5	2,339	2,450	4.8	83.9
15 玉川村	16,005	16,549	3.4	6,392	6,273	△ 1.9	2,504	2,638	5.4	90.3
16 平田村	13,434	13,259	△ 1.3	5,826	5,662	△ 2.8	2,306	2,342	1.6	80.2
17 浅川町	14,944	15,569	4.2	6,036	5,936	△ 1.7	2,476	2,623	5.9	89.8
18 古殿町	11,320	11,221	△ 0.9	4,825	4,680	△ 3.0	2,346	2,398	2.2	82.1
19 三春町	39,565	40,644	2.7	17,018	16,859	△ 0.9	2,325	2,411	3.7	82.5
20 小野町	23,053	23,102	0.2	9,471	9,254	△ 2.3	2,434	2,496	2.6	85.5
県南地域	402,143	413,665	2.9	138,770	137,248	△ 1.1	2,898	3,014	4.0	103.2
21 白河市	183,390	189,334	3.2	59,491	58,849	△ 1.1	3,083	3,217	4.4	110.2
22 西郷村	61,112	61,870	1.2	20,808	20,764	△ 0.2	2,937	2,980	1.5	102.0
23 泉崎村	18,212	18,470	1.4	6,213	6,153	△ 1.0	2,931	3,002	2.4	102.8
24 中島村	13,635	13,576	△ 0.4	4,885	4,806	△ 1.6	2,791	2,825	1.2	96.7
25 矢吹町	46,312	47,076	1.7	17,287	17,144	△ 0.8	2,679	2,746	2.5	94.0
26 棚倉町	36,321	37,521	3.3	13,343	13,101	△ 1.8	2,722	2,864	5.2	98.1
27 矢祭町	15,461	17,079	10.5	5,392	5,259	△ 2.5	2,867	3,248	13.3	111.2
28 埴町	20,748	21,908	5.6	8,302	8,217	△ 1.0	2,499	2,666	6.7	91.3
29 鮎川村	6,953	6,831	△ 1.7	3,049	2,955	△ 3.1	2,280	2,312	1.4	79.2
会津地域	579,919	594,848	2.6	232,140	228,553	△ 1.5	2,498	2,603	4.2	89.1
30 会津若松市	313,076	324,404	3.6	117,376	116,000	△ 1.2	2,667	2,797	4.8	95.8
31 喜多方市	106,939	109,004	1.9	44,760	44,149	△ 1.4	2,389	2,469	3.3	84.5
32 北塩原村	5,860	5,891	0.5	2,556	2,496	△ 2.3	2,293	2,360	2.9	80.8
33 西会津町	11,922	11,947	0.2	5,770	5,591	△ 3.1	2,066	2,137	3.4	73.2
34 磐梯町	9,608	10,756	11.9	3,322	3,273	△ 1.5	2,892	3,286	13.6	112.5
35 猪苗代町	30,827	30,769	△ 0.2	13,552	13,263	△ 2.1	2,275	2,320	2.0	79.4
36 会津坂下町	36,520	36,970	1.2	15,068	14,760	△ 2.0	2,424	2,505	3.3	85.8
37 湯川村	7,416	7,892	6.4	3,081	3,037	△ 1.4	2,407	2,599	8.0	89.0
38 柳津町	6,376	6,425	0.8	3,081	2,995	△ 2.8	2,069	2,145	3.7	73.4
39 三島町	3,207	3,135	△ 2.2	1,452	1,404	△ 3.3	2,209	2,233	1.1	76.5
40 金山町	4,488	4,279	△ 4.7	1,862	1,808	△ 2.9	2,410	2,367	△ 1.8	81.0
41 昭和村	2,021	2,002	△ 1.0	1,246	1,204	△ 3.4	1,622	1,663	2.5	56.9
42 会津美里町	41,660	41,376	△ 0.7	19,014	18,573	△ 2.3	2,191	2,228	1.7	76.3
南会津地域	57,536	58,782	2.2	24,263	23,608	△ 2.7	2,371	2,490	5.0	85.3
43 下郷町	11,988	12,136	1.2	5,264	5,120	△ 2.7	2,277	2,370	4.1	81.2
44 檜枝岐村	1,633	1,583	△ 3.1	504	509	1.0	3,240	3,109	△ 4.0	106.5
45 只見町	9,298	9,554	2.7	4,044	3,950	△ 2.3	2,299	2,419	5.2	82.8
46 南会津町	34,617	35,510	2.6	14,451	14,029	△ 2.9	2,395	2,531	5.7	86.7
相双地域	465,788	454,269	△ 2.5	119,577	116,664	△ 2.4	3,895	3,894	△ 0.0	133.3
47 相馬市	102,527	106,996	4.4	34,865	34,405	△ 1.3	2,941	3,110	5.8	106.5
48 南相馬市	168,176	167,325	△ 0.5	59,005	58,226	△ 1.3	2,850	2,874	0.8	98.4
49 広野町	24,256	18,661	△ 23.1	5,412	5,375	△ 0.7	4,482	3,472	△ 22.5	118.9
50 楡葉町	21,559	22,040	2.2	3,710	3,627	△ 2.2	5,811	※6,077	4.6	※208.1
51 富岡町	29,694	29,850	0.5	2,128	1,738	△ 18.3	13,954	※17,175	23.1	※588.1
52 川内村	5,919	5,611	△ 5.2	2,044	1,966	△ 3.8	2,896	2,854	△ 1.4	97.7
53 大熊町	30,971	27,107	△ 12.5	847	741	△ 12.5	36,566	※36,581	0.0	※1,252.6
54 双葉町	14,968	12,013	△ 19.7	0	-	-	-	-	-	-
55 浪江町	31,840	30,282	△ 4.9	1,923	1,434	△ 25.4	16,558	※21,117	27.5	※723.1
56 葛尾村	2,906	2,631	△ 9.5	420	383	△ 8.8	6,919	※6,870	△ 0.7	※235.2
57 新地町	23,482	22,647	△ 3.6	7,905	7,845	△ 0.8	2,970	2,887	△ 2.8	98.8
58 飯館村	9,489	9,107	△ 4.0	1,318	1,053	△ 20.1	7,199	※8,648	20.1	※296.1
いわき地域	930,199	949,005	2.0	332,931	329,471	△ 1.0	2,794	2,880	3.1	98.6
59 いわき市	930,199	949,005	2.0	332,931	329,471	△ 1.0	2,794	2,880	3.1	98.6
市町村計・市町村平均	5,174,702	5,292,698	2.3	1,833,152	1,812,061	△ 1.2	2,823	2,921	3.5	100.0
県計・県平均	5,174,755	5,292,698	2.3	1,833,152	1,811,940	△ 1.2	2,823	2,921	3.5	

注：市町村民所得及び1人当たり市町村民所得は、県及び県が設定・管理する地方社会保障基金の財産所得が推計対象外となったため、市町村計・市町村平均と県計・県平均(県民経済計算の県民所得及び1人当たり県民所得)は合致しない。

注：総人口は各年10月1日現在。市町村別の値は県統計課「福島県の推計人口」による。

なお、人口が「-」とされている市町村については、1人当たり市町村民所得についても「-」を表章となる。

県計は、県民経済計算で用いている、総務省統計局「人口推計年報」等による。国勢調査年以外は、市町村計と県計は一致しない。

注：市町村平均比(市町村平均=100)＝各地域(市町村)の1人当たり市町村民所得÷各地域(市町村)平均の1人当たり市町村民所得×100

※1人当たり市町村民所得に※印を付している町村は、「福島県の推計人口」において令和2年から新たに総人口を補綴した町村です。

1人当たり市町村民所得は「市町村民所得÷総人口」で推計しており、※印を付した町村の1人当たり市町村民所得が他市町村と比較して大きく変わっているのは、総人口による影響が大きいと考えられるため参考値となります。

市町村民経済計算Q&A

●1人当たり市町村民所得



赤ちゃんからお年寄りまで含めて
1年間に何百万円も稼いでいるの？



個人の所得を表す指標ではないよ。
市町村内の企業が得た所得も含まれているんだ。

市町村民所得は、生産活動で生み出された付加価値を、生産活動に参加した経済主体に分配したもので、市町村民雇用者報酬(給与・退職金など)、財産所得(利子・賃貸料など)、企業所得(営業利益など)からなります。

1人当たり市町村民所得は、市町村民所得をその年の10月1日現在の総人口で割ったものです。

市町村民所得の「所得」は、一般的に使われる意味での「所得」とはやや異なります。

市町村民雇用者報酬には、厚生年金や労災保険などの事業主負担分も含まれています。

土地や株式の売却益、相続した遺産などは、生産活動で生み出された付加価値ではないため、市町村民所得には含まれません。

社会保障給付(国民年金ほか)、社会扶助給付(生活保護費ほか)等は、住民や企業など誰かにいったん分配された付加価値を、社会保険料や租税を通じて政府などが集めたうえで再び分配したものです。年金給付の財源となる付加価値は市町村民雇用者報酬などの形で市町村民所得に含まれていますが、年金給付そのものは市町村民所得には含まれていません。

1人当たり市町村民所得は、企業の利益なども含めた市町村民経済全体の所得水準を表しており、個人の給与や実収入の平均値ではありません。

また、分子である市町村民所得の増減と分母である人口の増減により変動するので、増減の要因には注意を要します。

●帰属計算



不動産業の構成比が
ずいぶん高いよ？

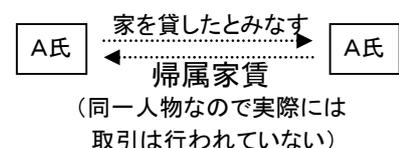
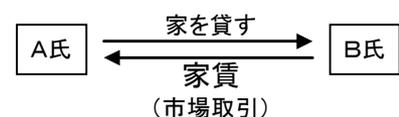


持ち家の帰属家賃も含まれているんだ。

帰属計算は、国民経済計算や県民経済計算上の特有な概念です。実際には市場で財やサービスの取引が行われていないにもかかわらず、あたかも行われたようにみなして擬制的取引計算を行うことをいいます。市町村民経済計算も県民経済計算に準拠しています。

国民経済計算や県民経済計算における(生産系列)不動産業では、実際には家賃の受払を伴わない自己所有住宅(持ち家)についても、通常の借家や借間と同様のサービスが生産され消費されるものと仮定して、それを市場家賃で評価(帰属家賃)しているため、一般的な不動産業の範囲よりも広がります。

家賃と帰属家賃



●数値の遡及改定



キビタン©福島県

令和5年に公表された令和2年度の数値と今年公表された令和2年度の数値が違うよ？

数値は毎年遡及改定されているよ。
だから最新版の数値を使ってね。



ベコ太郎

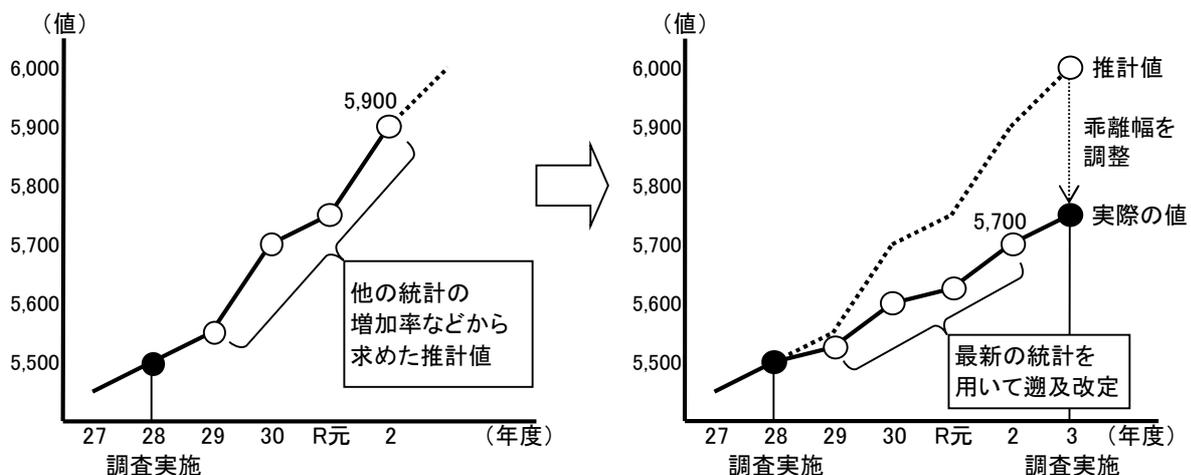
市町村民経済計算の数値は、国民経済計算の数値や、その他各種既存の統計調査の数値を用い、内閣府経済社会総合研究所が示す「県民経済計算標準方式」に基づき算出した県民経済計算の値を市町村別に按分しているものです。

県民経済計算では、計算の元となるデータが国勢調査のように何年かに1回の周期で実施される統計調査の場合は、調査のない年度は推計値を用いています。毎年公表される統計でも、国土交通省「建設投資見通し」のように改定の大きいものもあります。そのため、新しい調査結果が公表されたときは、新しいデータを使って過去に遡って推計値を修正します(遡及改定)。

また、令和元(2019)年度県民経済計算より、国民経済計算に準拠した2015年(平成27年)基準改定を行っているため、県値を按分している市町村民経済計算の値も改定されており、旧基準値と厳密には接続しません。

このように、市町村民経済計算においては、最新年度分の推計とともに遡及改定も併せて行っているため、数値の利用にあたっては注意が必要です。最新版の数値をお使いください。

計算の元となる統計の遡及改定のイメージ (図の数値は例)



●公表の時期



キビタン©福島県

3年前の結果が今ごろ出るの？

県民経済計算の値を、市町村別に按分しているため、時間がかかってしまうんだ。



ベコ太郎

市町村民経済計算は、県民経済計算の値が確定した後に、各種の基礎統計を利用して市町村別に按分して算出しているため、公表までにお時間をいただいております。

統計利用者の便宜を図るため、本県においても引き続き公表時期の早期化に努めていきます。

●概念の違い



市町村内総生産と市町村民所得の数値が違うよ？

市町村民所得は市町村内総生産から減価償却費などを除いているんだよ。



市町村内総生産と市町村民所得は、次の3つの違いから数値が異なりますが、同一概念で比較すると両者は等しくなります(図参照)。

①「市町村内」と「市町村民」の違い

「市町村内」は、経済活動の場所に着目する概念(属地主義)で、「市町村民」は居住者を対象とする概念(属人主義)です。居住者には個人だけでなく、法人企業や政府機関が含まれます。

市町村内総生産は「市町村内」、市町村民所得は「市町村民」概念です。

市町村内に居住し市町村外で勤務している個人については、生産活動は市町村内総生産には含まれず、市町村民雇用者報酬は市町村民所得に含まれます。他市町村に本社のある企業が市町村内の事業所で行っている生産活動は、市町村内総生産に含まれます。市町村外への利子等の財産所得の支払は、市町村民所得には含まれません。

②「総生産」と「純生産」の違い

産出額から中間投入を除いた粗付加価値が「総生産」で、総生産から固定資本減耗分を控除した正味の付加価値が「純生産」です。

市町村内総生産は「総」、市町村民所得は「純」概念です。

固定資本減耗とは、機械や設備などの通常の使用による摩耗分(会計学上は固定資産の減価償却に相当)に、災害等による資本の偶発的な減失分を加えたもので、固定資産を代替するための費用として市町村内総生産の一部を構成しています。

③「市場価格表示」と「要素費用表示」の違い

価格は、生産に要した生産要素(人件費、原材料のコスト等)を内訳としています。しかし、実際に市場で売買取引が行われる場合には、生産・輸入品に課される税(消費税等の間接税)が課されて価格が高くなったり、政府が生産活動に対して政策的な意図から補助金を交付した場合(例:バス運行対策費補助金等)には逆に低い価格で取引されたりします。

そのため、市町村民経済計算では、生産に必要とされる生産要素に対して支払われる価格を要素費用表示価格と呼び、要素費用表示価格に生産・輸入品に課される税を加え補助金を控除した価格を市場表示価格と呼んで2つの価格で表章しています。

通常、市町村内総生産は「市場価格表示」、市町村民所得は「要素費用表示」で表章します。

市町村内総生産と市町村民所得

(市町村民所得 = 市町村内総生産 + ① - ② - ③)

